

中国における市場、仲介、情報

慶應大学経済学部  
古田和子

市場

(1) 中国の市場をどうみるか

市場経済的特徴（土地売買の規則、社会的分業の世襲的固定化は少なくとも宋代以降は原則的に存在せず）、一方で「完全な市場」「近代的市場」とは異なる特徴の存在。

(2) 放任された自由をどう評価するか

秩序の欠如、恣意性、「内面的に共有された規範が存在しない」（足立）

契約文書や中人の証言、地方裁判における個別事情への配慮は恣意と等置ではない（寺田、滋賀、岸本）

前者は pessimistic、後者は optimistic ではないが、中国固有の秩序のあり方・公共性のあり方を問おうとする意味で positive な姿勢。

(3) 西欧世界の勃興をもたらした所有権の確立過程、領域国家の成立、市場経済の拡大の相互作用が、なぜ中国には見いだせないのかを問うよりも、前二者を欠いた状態で、きわめて競争的かつ不安定な市場が、なぜ社会的には維持されてきたのか、原子論的市場が持つ機会主義や市場の失敗は、どのような制度によって回避、補填されてきたのか。

そのことを中国の市場秩序のあり方のなかに問うことの方が意義深い。

仲介

(1) 中国経済は、経済過程のなかで仲介の占める割合がきわめて大きい経済である。いわゆる一般的な物と物の取引関係から、土地の売買・用益に関する契約、人の保証・雇用・紹介にいたるまで、二者間で結ばれるさまざまな社会関係に仲介が介在。中国の市場秩序は、あらゆるレベル、あらゆる分野に介在する仲介という制度によって保証。成果の不確実性を逡減ないし転嫁するための制度としての仲介。

(2) 鎮市（農村の小市場町）における取引の場合

「全くの無秩序な競争下にある場合に比べて、比較的公正な取引を行える可能性が、農民を市集の牙行や斗子の前に集めるのである」（古田 1985）。系領・船頭の仲介／鎮におもむくことが自己の取引環境を整えることを意味する。

恒常的な顧客関係を形成しない場合にも、一回限りのスポット市場での取引が持つ機会主義を回避するための制度として重要な位置を占めている。

(1) 取引主体の独立性。第一の人と第二の人、その間に入る第三の人はいずれも独立的な個別経済主体。独立性を保った主体が、しかし、仲介や包や保人などを介して社会的、経済的関係を結ぶ。その関係は基本的に二者間の関係である。合股／股のネットワーク

## ・情報

- (1) 第一と第二の人の双方の事情に比較的通じているという特性が、第三の人が仲介者として機能をはたす正当性の根拠となっている。
- (2) 私人的保証である。具体的な「その場」「その分野」の秩序を保証するだけ。したがって、保証の根拠は普遍的な形をとって法的に明文化できるようなものではない。しかし、「その場」「その分野」がそれぞれ保有している不確実性は確かに仲介者に転嫁され除去されて逡減したという認識が、取引の当事者間に成立している。つまり、これが「人々の目に映った秩序の形」(岸本)私的、しかし、恣意的とは映らない根拠は情報と不確実性の除去にある。
- (3) 情報財に対する認識の存在  
一義的価値でなく一定の幅をもった伸縮的価格 / 雑種幣制の中華帝国経済 / 朝夕の変動大量に行われる換算
- (4) 再び「市場」について  
経済学における「市場」のとらえ方の変化 不完全情報下の市場 / 限定的合理性  
市場は需要と供給が会おう場。市場が成立するためにコストがかかる。  
情報を与件として扱ってきた新古典派の経済学に比べて、中国経済ははるかに情報の経済的市場観を備えていたといえよう。

## ・資本主義

- (1) 「境域の経済秩序」(古田 1999)  
上海を中心に朝鮮、日本にネットワークをはって、異種類の貨幣間の交換と為替差益をもとめる中国商人の行動(20世紀転換期) / 諸通貨の自由競争的な「雑種幣制」を特徴とする中華帝国の経済秩序  
中華帝国は債権債務関係が行政的境界を超えて成立することを前提とする社会(黒田)
- (2) 今日の情報資本主義における「グローバルゼーション」は商人資本主義なのである。  
なぜなら、もっとも単純な商品である貨幣を安い所で買い高い所で売るから。(岩井)
- (3) 情報の占める比重。価値の差別化と資本主義

## 参考文献

- 青木昌彦・奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』東京大学出版会、1996年。  
ブローデル、フェルナン『物質文明・経済・資本主義 15-18世紀 - 1 交換のはたらき1』<sup>『</sup> - 2 交換のはたらき2』みすず書房、1986、1988年。  
古田和子『「湖糸」をめぐる農民と鎮』『東京大学教養学科紀要』第17号(1985年)。  
古田和子' Peasant, Market Town, and Handicraft Technology ' in Akira Hayami and Yoshihiro Tsubouchi eds., Economic and Demographic Development in Rice Producing Societies(Proceedings prepared for Tenth International Economic History Congress, Lueven, 1990),1989。  
古田和子「境域の経済秩序 - 上海ネットワークと黄海交易圏 - 」『岩波講座世界歴史

- 第 23 卷 アジアとヨーロッパ』岩波書店、1999 年。
- 岩井克人『資本主義を語る』ちくま学芸文庫、1997 年。
- 柏 祐賢『経済秩序個性論 - 中国経済の研究 - 』人文書林、1947 - 48 年。
- 岸本美緒『清代中国の物価と経済変動』研文出版、1997 年。
- 岸本美緒『市場史の射程』コメント - 中国史から - 』『社会経済史学』第 63 巻第 2 号(1997 年)。
- 岸本美緒「清代中国の経世論における貨幣と社会」歴史学研究会編『シリーズ歴史学の現在 1 越境する貨幣』1999 年。
- 黒田明伸『中華帝国の構造と世界経済』名古屋大学出版会、1994 年。
- 黒田明伸「20 世紀初期太原縣にみる地域経済の原基」『東洋史研究』第 54 巻第 4 号(1996 年)。
- 黒田明伸「伝統市場の重層性と制度的枠組 - 中国・インド・西欧の比較 - 』『社会経済史学』第 64 巻第 1 号(1998 年)。
- コース、ドナルド・H『企業・市場・法』東洋経済新報社、1992 年。
- ノース、ダグラス・C『文明史の経済学 財産権・国家・イデオロギー』春秋社、1989 年。
- ノース、ダグラス・C『制度・制度変化・経済成果』洋書房、1994 年。
- 村松祐次『中国経済の社会態制』東洋経済新報社、1949 年(復刊 1975 年)。
- 宮澤健一『制度と情報の経済学』有斐閣、1988 年。
- 関本照夫「二者関係と経済取引 - 中部ジャワ村落経済生活の研究」『国立民族学博物館研究報告』第 5 巻第 2 号(1980 年)。
- 寺田浩明「権利と冤抑 - 清代聴訴世界の全体像」『法学』(東北大学法学会)第 61 巻第 5 号。
- Thompson, Grahame eds., Markets, Hierarchies and Networks: The Coordination of Social Life, London: Sage Publications, 1991.
- Williamson, Oliver E. Markets and Hierarchies, New York: Free Press, 1975.